

産業医契約書

事業者 _____ (以下「甲」という)と、富山県医師会所属医師 _____ (以下「乙」という)は、富山県医師会を立会人として、労働安全衛生法第13条の定めによる産業医の委嘱に関して下記のとおり契約を締結する。

記

(産業医嘱託)

第1条 甲は乙を末尾表示の甲の事業場(以下「本事業場」という)における労働安全衛生法第13条の産業医として選任し、その職務を行うことを委嘱し、乙はこれを承諾した。

(職務内容)

第2条 乙は本事業場において、労働安全衛生規則第14条及び第15条に規定する職務及び、これに付随する別表記載の職務を行うものとする。

(委員)

第3条 甲は、労働安全衛生法第18条第2項第3号により、乙を本事業場における衛生委員会の委員に指名し、乙はこれを承諾した。

(甲の債務)

第4条 甲は乙に対し、労働安全衛生規則第15条第2項に基づき、第2条の職務を行う権限を与え、その職務遂行につき全面的に協力する。
2. 甲は乙のなす労働安全衛生法及びその他の諸規則に基づく指導、勧告、助言などを尊重し、必要な措置を行うように努める。

(情報提供など)

第5条 甲は乙に対し、本事業場の労働者の健康管理に関し、必要な資料・情報を提供するものとし、乙は職務上知り得た本事業場及びその従業員の秘密を医師としての良心に従って厳守するものとする。

(報酬)

第6条 甲は乙に対して、報酬月額 _____ 円を毎月 _____ 日までに支払うものとし、健康診断などの報酬については、それぞれ別に定める規定に従って実施の都度支払うものとする。
2. その他特別な費用などを要する事項に関しては、甲乙協議のうえ、その都度定めて支払うものとする。

(事故などの補償)

第7条 乙が、本契約に定める職務を遂行中に生じた第三者に対する人的及び物的事故については、乙の故意又は重大な過失に基づくものを除き、すべて甲の責任において処理し、補償するものとする。

2. 乙が本契約に定める職務を遂行のため被災した人的事故については、本事業場などへの往復途上も含め、甲は乙の損害を補償する責任を負うものとする。物的事故についても同様とし、甲乙協議のうえ、甲は乙に対して損害を補償するものとする。
3. 甲がその保険料を負担する産業医傷害保険の保険給付があったときは、これを前項の損害額の全部又は一部に充当することができる。

(選任、解任届)

第8条 甲は乙の産業医選任を、遅滞なく所轄労働基準監督署に届け出るものとする。
2. 契約期間の満了・解約・死亡などにより乙が産業医でなくなったときは、甲は医師会にその旨を報告するものとする。

(契約の有効期間)

第9条 本契約の有効期間は平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日から2ヵ年とする。期間満了の1ヵ月前までに、甲乙いずれからも異議の申し出がない場合には、更に2年間契約を更新するものとし、以後も同様とする。

(協議)

第10条 本契約に定めのない事項、又は本契約に関する疑義については、その都度甲乙協議のうえ取り決めるものとする。

(第三者の仲介、斡旋)

第11条 本契約について疑義が生じ、甲乙の協議が整わなかったときは、医師会にその仲介又は斡旋を求めることを甲乙あらかじめ合意する。

本契約を証するため、本書3通を作成し、甲乙及び立会人押印のうえ、甲乙及び立会人が1通ずつ保有する。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

「甲」 事業場所在地
名 称
代表者氏名 (印)

「乙」 住 所
医療機関名
医 師 氏 名 (印)

「立会人」 所 在 地 富山市蜷川336番地
名 称 公益社団法人 富山県医師会
代表者氏名 会長 馬 瀬 大 助 (印)